

子ども第一主義の徹底 ～子どもの未来に希望をつなぐ共育の推進～

学校は、子どもたちのためにあります。その子どもたちの健やかな成長のために教職員が総力を挙げて取り組みます。学校は保護者や地域の方々の支援を得ながら教育活動の充実をすすめていきます。その取組方針として、次の3点を掲げます。

1 子どもを主語に

豊かな心の育成を図るために、人権教育の推進と共に非認知能力の育成に努める教育活動を推進します。また、確かな学力の育成を図るために、全学年を学年担任制とし、全児童を学年組織で指導・支援する学習環境を整えるとともに、4年生以上の学年で教科担任制を導入し、担当教科の専門性を高め、児童の学力向上を図ります。さらに、健やかな体の育成については、体育科及び、業間体育の充実に努め、運動の楽しさを実感させ、運動習慣の定着化を図ります。

2 教職員と共に

校内研究やOJT研修の充実に努めるとともに、学年団等による学年等の組織体制の充実を図るため、学年担任制等を生かした学習指導や生活指導を推進し、学力向上や多面的な児童理解の促進に努めます。

3 地域と共に

コミュニティ・スクールの推進を図るため、学校運営協議会と地域学校協働本部との一体的な活動の推進に取り組むとともに、PTAや地域団体との連携充実に努めます。

これらの教育活動を充実させることで、第一小学校の子どもたちの将来の夢と希望を叶えることができる自立の基礎を培っていきたいと考えています。